

2018年11月14日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

ラグビーワールドカップ 2019 まで 1 年。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第 76 回 松尾 雄治 氏

(新日鐵釜石ラグビー部で7連覇を含む8度の日本一を達成した、日本ラグビー史上最高のスタンドオフ)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。ラグビーワールドカップ 2019 を来年に控えた本年度は日本のラグビーを支えてきた人びとをテーマにお送りします。

今回ご登場いただいたのは、新日鐵釜石ラグビー部で7連覇を含む8度の日本一を達成した松尾雄治氏。「日本ラグビー史上最高のスタンドオフ」と呼ばれた名選手に、新日鐵釜石ラグビー部の強さの理由、ラグビーとの決別を覚悟した“7連覇”秘話、ラグビーW杯 2019 への期待などを伺いました。

インタビュアーには産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出していただきました。SSF ウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『「すべてを教わった」 ラグビー一筋の人生』 松尾 雄治 氏

【公開日時】2018年11月14日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdId/273/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】小学生の時から“ラグビー漬け”の日々/人間性を“鍛えられた”高校時代/変化し続けたことにあった新日鐵釜石の強さ/ラグビーとの決別を覚悟した“7連覇”秘話/“奇跡のチーム”誕生の地、釜石/“遠い夢物語”だった釜石でのラグビーW杯開催が現実に ほか



《プロフィール》

松尾 雄治(まつお ゆうじ)氏

1954年生まれ。目黒高校ラグビー部、明治大学ラグビー部を経て1976年に新日鐵釜石ラグビー部に入学し、日本選手権で8度優勝。1975年、日本代表に初選出され、通算キャップ24を獲得。引退後はニュースキャスター、成城大学ラグビー部監督として活躍。2011年、NPO法人スクラム釜石を設立。

佐野 慎輔(さの しんすけ)氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂(ふるさか)
TEL: 03-6229-5300 info@ssf.or.jp